

2026 年度千葉県大学サッカーリーグ開催要項

1. 目的 リーグ戦による順位決定。また、加盟チームのレベルアップを図る。
2. 主催 (公社)千葉県サッカー協会／ 主管 千葉県大学サッカー連盟
3. 会場 各年度協議の上決定する。
4. 期日 同上
5. 参加資格 財団法人日本サッカー協会ならびに千葉県大学サッカー連盟に登録されている単独の大学の学生を以って構成されたチームで次の資格を有するチームに限る。
 - ①当年度の加盟団体登録手続きを完了し、会費（加盟費）を納入済みのチームに限る。
 - ②チームを構成する選手の中に外国籍を有する選手を含む場合は5名以内に限る。
 - ③参加する選手は選手証もしくは連盟指定の(公財)日本サッカー協会への個人登録を確認できる書類を持参すること。
 - ④参加資格に疑義のある場合は、千葉県大学サッカー連盟が(公社)千葉県サッカー協会と協議して裁定する。
6. 参加申し込み
 - ①参加資格を得たチームは、所定のエントリー届を連盟に持参若しくは送付し、参加料は大学名にて所定の銀行口座に振り込むこと。
 - ②参加申込、参加料等は各年度協議のうえ決定する。
7. 試合の組み合わせ
 - ①1部・2部リーグ制とする。
 - ②1部リーグにあつては、優勝校を関東大学サッカー大会の代表チームとし、更に1部リーグ7位・8位校は、2部リーグ1位・2位校と自動入替とする。尚1部リーグにおいて関東リーグとの昇降格が生じた場合は、別途定める。
 - ③1部リーグは2回総当り戦を行い、その成績により上位4チームと下位4チームでそれぞれ1回戦のリーグ戦を行う。
 - ④最終順位は総当たり2回戦と上位下位戦の勝点、得点、失点等成績を合計し上位の1位から4位を最終順位1位から4位、下位の1位から4位を最終順位5位から8位とする。
 - ⑤2部リーグの編成は参加校数に応じて、別途定める。
8. 試合の方法
 - ①リーグ戦の順位は、以下の方法で決定する。
 - i 勝ち点 勝ち…3 分け…1 負け…0
 - ii 得失点差
 - iii 総得点数
 - iv 当事者間の勝敗で勝利チームを上位とする。
 - v 勝利数
 - ②試合時間は総て90分とする。
 - ③試合の競技規則は当該年度(財)日本サッカー協会の規則による。交代に関しては、競技開始前に登録した最大9名の交代要員の中から計5名・5回までの交代が認められる。尚、メンバー表提出後に選手に怪我等の特別な事由が発生した場合に限り、以下の通りの入替を認める。(1)先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更することはでき、控え

に新たな選手を補充することができる。この場合、当初の先予定発選手を控え選手に変更することはできない。ただし、ゴールキーパーは例外として認める。(2)控え選手の場合、新たな選手を控えとすることができる。

また、脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは別途定める。

④試合中主審により、退場を命じられた選手は次の公式戦1試合に出場することができない。本大会のその後の措置については規律部会（別に定める）において決定する。

⑤総当たり2回戦各試合を通じ累積して警告を3回受けた選手は大会中次の1試合に出場することができない。

累積警告について上位下位戦は別大会として扱うこととする。

⑥試合球は連盟が準備する。

9. 表彰

①優勝チームには優勝旗を授与し、次回まで保持せしめる。

②1位から3位までのチームには表彰状を授与する。1部優勝チームは関東大学サッカー大会への出場義務を有するものとする。

10. ユニフォーム

各チームは全く色彩の異なる2つのユニフォームを準備携行しなければならない。

各選手はメンバー表に記入したものと同一の明確に判別できる背番号を付して着用しなければならない。

11. 経費

大会運営経費以外の大会参加のための一切の経費（旅費、宿泊費、その他）は参加者の負担とする。

12. その他

大会各チームはその責任において、十分な安全措置を施して大会に参加するものとする。

□2009. 8. 29 注釈 ベンチ入りできるスタッフ・役員はメンバー用紙に記入された最大7名までとする。

※2025. 4. 26 追記脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いについて

①脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常の交代に含まれない。

②発生した脳振盪またはその疑いのある選手の人数にかかわらず、1試合において各チームが得られる脳振盪交代の交代人数の上限は1名、交代回数の上限は1回とする。

③脳振盪交代をした場合、相手チームは通常の交代とは別に、交代人数1名、交代回数1回を追加で行うことができる（以下、本項に基づく交代を「追加交代」という）。

④1試合において各チームが行える追加交代の交代人数の上限は1名、交代回数の上限は1回とする。なお、追加交代は、理由如何を問わず使用できる。

⑤脳振盪交代及び追加交代は、通常の交代と異なる交代であると判別できる手続きで行われなければならない。

⑥脳震盪交代は、本連盟が指定した交代用紙を用いて行うものとする。

⑦脳振盪交代、追加交代および通常交代のうち2種類以上の交代を同時に行った場合、それぞれの種類の交代につき、1回ずつ交代したものとみなす。

◇次年度2部リーグ戦の編成について

【リーグ編成と入替戦について】

①関東リーグからの降格が2チームあった場合

1部を10チーム編成とし、2部校1・2位が昇格、1部7・8位が降格とする。

②関東リーグからの降格が1チームあり、昇格がない場合。

1部は8チーム編成とし、2部校1位は昇格、1部7・8位は降格、1部校6位と2部校2位で入替戦を行う。

③関東リーグの昇降格が無い場合（もしくは昇格と降格が同数発生した場合）

1部は8チーム編成とし、2部校1・2位が昇格、1部7・8位が降格とする。

④関東リーグへの昇格が1チームあった場合。

1部は8チーム編成とすることとし、2部校1・2位が昇格、1部8位は降格。1部7位と2部校3位が入替戦を行う。

※試合方式は、リーグ戦に準拠し、上位チームをホーム、下位チームをアウェーの扱いとする。

入替戦が引き分けた場合、昇降格は行わない。

いずれの場合も、次年度の順位は前年度リーグ戦順位によるものとする。